

エコアクション21  
環境活動レポート

2010 年度版

活動期間 2010 年 3 月 ~ 2011 年 2 月

2011 年 4 月 1 日発行



エコアクション21

認証・登録番号 0002348

本社・工場 〒277-0861 千葉県柏市高田 1113-13

有限会社 光化工業所

電話 番号: 04(7143)3248

FAX 番号: 04(7143)4693

E-mailアドレス: [office@kouka-web.com](mailto:office@kouka-web.com)

## 目次

- .組織の概要
- .環境方針
- .環境目標
- .主要な環境活動の内容
- .環境活動の取組結果の評価
- .環境法令への違反、訴訟の有無

### .組織の概要

事業所名 有限会社光化工業所

代表取締役 大谷洋司

所在地 本社・工場 〒277-0861 千葉県柏市高田 1113-13

電話番号、FAX : 04(7143)3248 、 04(7143)4693

環責者 製造部 島貫和之

担当連絡者 事務部 大谷朋子

#### 【事業活動の概要】

ネームプレート製造業

- ・エッチング加工
- ・アルマイト加工
- ・シルク印刷
- ・機械彫刻
- ・カッティングフィルム

#### 【事業の規模】

売上高: 年商 13,600 万円

敷地面積: 土地 991.90 m<sup>2</sup>  
建物 1F 447.68 m<sup>2</sup>  
2F 377.88 m<sup>2</sup>

従業員数: 15 名

## 【会社沿革の概要】

創立年月日： 1949年4月1日

設立年月日： 1965年3月3日

1949年4月 大谷圭次(故)が東京機器(株)(現・トキコテクノ株式会社)を退社し、  
柏市大塚町4-12番地で創立した。

1965年3月 有限会社に改組し、資本金40万円で設立する。

1968年6月 大谷洋司 代表取締役役に就任する。

1973年1月 本社工場を、現在地に新築移転する。

1974年4月 資本金300万円に増資。

1975年1月 資本金600万円に増資。

1989年10月 資本金1,000万円に増資。

## 【機械設備】

電子画像処理システム POWER MAC8500 式 1 式

カッティングシステム CG-100LX 1 台

熱風乾燥機(温度制御法) 3 台

自動フィルム現像機 FG-680A 1 台

コンピュータ彫刻機 PG301004 2 台

全自動エッチングマシン 1 台

全自動現像機 AP-201 1 台

全自動研磨機 AP-201 1 台

水洗式塗装機 VPO-5B-1E 1 台

アルマイトレジスト加工設備 1 式

第2塩化鉄液貯槽 2 基

全自動廃水処理装置 1 式

シルク印刷機 ニューロング他 3 台

シノハラ パワープレス 65t 1 台

コマツ パワープレス OBS25t OBS45t OBS60t 各 1 台

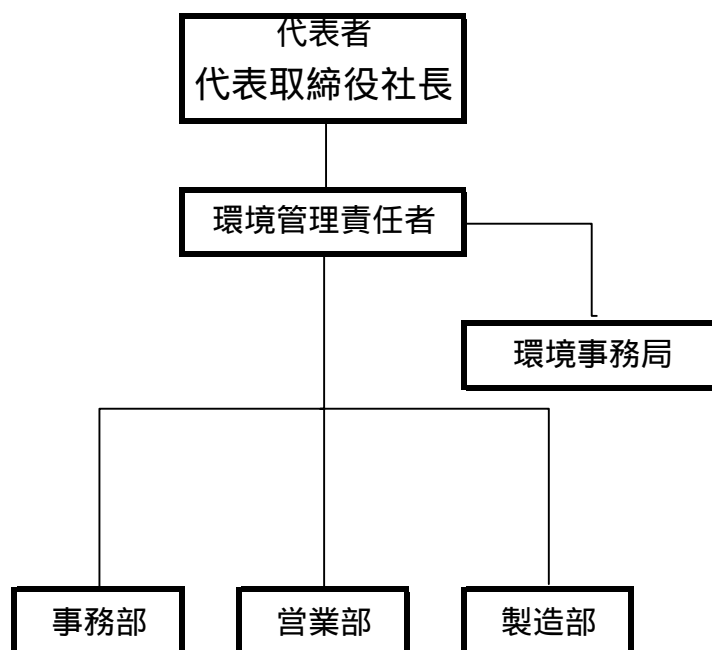
蹴飛ばしプレス 5 台

シャーリング 3 台

両面ラミネータ 1 台

## 有限会社光化工業所 環境経営システム組織

・以下の組織図は「環境管理システム」上において適用されるもので



# 有限会社 光化工業所

## 環境方針

### < 基本理念 >

〔 有限会社 光化工業所 〕は環境にやさしい製造業として、省資源(節水を含む)省エネルギー・環境保全に対する活動を、全社一丸となって取り組みます。

### < 活動方針 >

当社のネームプレート製造業(金属・樹脂銘板、シール、カッティングシート)の事業活動を通じ、継続的な環境負荷の低減のため、行動指針を次のように定めます。

1. 環境目標を定め、全員参加の省資源・省エネルギーの環境活動を推進し、必要に応じて見直しをします。
2. 環境に関する法規制、条例を遵守し、環境負荷の継続的な削減に取り組みます。
3. エコアクション 21 に基づく環境経営システムを導入し実行します。
4. 具体的取り組み内容。
  - 電気、化石燃料の節減により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
  - 廃棄物の分別の徹底と再生利用の推進及び減量・管理に努めます。
  - 節水により水使用量削減に努め、浄水設備の管理を徹底します。
  - グリーン購入を推進します。
  - 化学物質管理に取り組みます。
  - 環境に配慮し、製品包装の簡略化と梱包材の再利用に努めます。
  - 柏市環境保全協議会での活動を通じ、環境保全活動に努めます。
5. 弊社の環境への取り組みを、「環境レポート」を通じてHP上で公開します。
6. 環境方針は掲示し、全従業員に周知させます。

2011年3月1日 代表取締役社長

大谷洋司

## 環境目標

二酸化炭素排出係数 : 0.378-CO2/kwh

環境目標項目	基準年度	短期目標	中長期目標	
	2009年度 (通年)	2010年度 (通年)	2011年度 (通年)	2012年度 (通年)
全体の二酸化炭素排出量削減 (CO2)	60,225 kg-CO2	59,623 kg-CO2 1%減	59,021 kg-CO2 2%減	58,418 kg-CO2 3%減
電力の使用量削減 (電力)	102,913 kWh 38,901 kg-CO2	101,884 kWh 1%減	38,123 kWh 2%減	37,734 kWh 3%減
自動車燃料の使用量削減 (ガソリン)	6,879 L 15,973 kg-CO2	15,813 L 1%減	15,654 L 2%減	15,494 L 3%減
一般廃棄物の削減	1,796 kg	1778 kg	1760 kg	1742 kg
産業廃棄物の維持管理	・産業廃棄物については減量が困難なため、維持管理をしていく ・生産工程にて発生する産廃、スクラップ材等は減量できる手段・方法を継続努力する			
節水 (上水+地下水使用量削減)	1,515 m3 (上水 = 522? ) (地下水 = 993? )	1500 m3 1%減	1485 m3 2%減	1470 m3 3%減
グリーン購入 環境に配慮した商品の優先購入	購入点数 83	87 点 5%増	90 点 8%増	91 点 10%増
化学物質使用量の管理	・製造工程上・製品に於ける使用量が少ない。 ・ユ・ザ・からの製品仕様書で使用物質が決められており、弊社の判断で削減は困難	化学物質の使用量管理 化学物質の保管管理 MSDSシートの管理	同左	同左
浄水設備の管理	・排水管理、事故発生時の届出	日常定期点検の実施(PH管理) 管理業者による定期点検 緊急時の対応策	同左	同左
製品への環境配慮	・製品納品時の包装の簡略化	通い箱の使用 梱包の簡略化 梱包材の再利用 HP上へ最新の環境レポート	同左	同左
環境保全活動		柏市環境保全協議会参加 協議会のイベントに参加	同左	同左

## **.主要な環境活動の内容**

**目標を達成するために実施する具体的取組は以下のとおりとする。**

a, 電力の削減対応策

室温設定適正化(冷房 28 暖房 20 )

機械の空運転をしない

PCの節電管理

照明消灯の徹底

b, ガソリンの削減対応策

効率的なルートで配送

アイドリングストップ

急加速・急停車の防止、スピードの抑制

車両整備の徹底

**燃費に対しても実績としてデーターを取り、効果把握手段とする。**

c-1, 廃棄物の削減対応策(一般)

使用済み裏紙、封筒の再利用

ミスコピーの防止

ゴミ箱の分別と教育の徹底

c-2, 廃棄物の削減対応策(産廃)

鉄液(廃酸)の廃棄量管理(産廃であるが、製造工程・品質上減量が困難なため、維持管理をする。)

浄水設備にて発生する汚泥の廃棄量管理(2009年度より実施)

d, 排水の削減

節水促進表示

手洗い時の止水

出しっ放しでの作業禁止

e, グリーン購入

環境に配慮した商品の優先購入

f, 化学物質の管理

・現時点では化学物質使用量の管理・製造工程上・製品に於ける使用量が少ない。

・ユ - ザ - からの製品仕様書で使用物質が決められており、弊社の判断で削減は困難

以上の現状を踏まえ、以下のように取り組む

化学物質の使用量管理

化学物質の保管管理

M S D S シートの管理

g, 浄水設備管理対応策

日常定期点検の実施 ( P H 管理 )

管理業者による定期点検

緊急時の対応策

h, 製品への環境配慮

製品納品時の包装の簡略化

通い箱の使用梱包の簡略化梱包材の再利用

H P 上へ最新の環境レポート掲載

i, 環境保全

活動柏市環境保全協議会参加協議会のイベントに参加

以上の取組中 f, 化学物質の管理 h, 製品への環境配慮 i, 環境保全については  
2011 年度分 ( 2011.3 月 ~ 2012.2 月 ) にて具体的な取組を開始する。

## 環境活動の取組結果の評価

環境活動の取組結果とその評価

【環境活動実績】「2008～2009年度」(以下年度とは3月～2月を言う)

活動実績表	単位	2008年度		2009年度	
		計画	実績	計画	実績
<b>総二酸化炭素排出量</b>	<b>kg-CO<sub>2</sub></b>		<b>65,482</b>	<b>67,795</b>	<b>60,225</b>
購入電力量	kWh	122,887	115,512	120,404	102,913
ガソリン使用量	L	7,715	5,564	7,559	6,879
		(3～6月末計測)			
<b>総排水量</b>	<b>m<sup>3</sup></b>		<b>1,965</b>	<b>1,867</b>	<b>1,515</b>
上水使用量	m <sup>3</sup>	750	720	735	522
地下水使用量	m <sup>3</sup>	未計測	未計測	1,132	993
<b>総廃棄物排出量</b>	<b>t</b>		<b>18.8</b>	<b>18.8</b>	<b>14.3</b>
廃棄物排出量(一般)	t	3.0	2.6	2.9	1.8
産業廃棄物排出量	鉄液 t		14.0		10.2
	汚泥 t		2tトラックで1回/3年程度		0.09
グリーン購入	点数	5	9	58	83

## CO<sub>2</sub>削減状況表

2006年度実績	2007年度実績	2008年度実績	2009年度実績
68,456 (Kg-CO <sub>2</sub> )	65,482 (Kg-CO <sub>2</sub> )	64,554 (Kg-CO <sub>2</sub> )	60,225 (Kg-CO <sub>2</sub> )

【環境活動実績】「2010年度(10年3月～11年2月)」  
 (以下年度とは3月～2月を言う)

活動実績表	単位	2010年度	
		計画	実績
総二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	67,118	67,811
購入電力量	kWh	113,771	121,059
ガソリン使用量	L	6,844	7,238
総排水量	m <sup>3</sup>	1,675	1,746
上水使用量	m <sup>3</sup>		579
地下水使用量	m <sup>3</sup>		1,107
総廃棄物排出量	t	18.6	10.3
廃棄物排出量(一般)	t	2.4	1.6
産業廃棄物排出量	鉄液 t		9.6
	汚泥 t		0.09
グリーン購入	点数	58	91

## 【活動実績の評価】

- 電力の削減 対目標値+6%となった。  
長引く猛暑の影響で、夏場の電力量がかさみ全体で目標値+6%となりました。  
計画中途段階での、目標値見直しが必要だったかもしれません。  
是正処置-各部署での空調温度設定管理と使用時間の短縮呼びかけ
- 廃棄物の削減  
一般 対目標値-67%となった。  
産廃 廃鉄液は引き取り時マニフェスト発行、汚泥は発生都度、測定・記録を運用しました。  
結果は廃液・9,540L、汚泥90kgで、昨年と同程度でした。
- 排水の削減 対目標値+4%となった。  
是正処置-計画外の短納期仕事が増加し、エッチング・アルマイト工程での水使用率が増加したことに起因します  
併せて、生活水の削減も呼びかけました。
- グリーン購入 目標58点に対し、91点となり、対目標値+56%の効果となりました。
- 浄水設備管理 日次・月次点検の維持管理が正しく実施されています。  
水質調査予定でしたが、コスト的な問題で来期実施を検討しています。
- ガソリンの削減 対目標値+5%の効果となりました。  
営業活動の拡大に伴い移動距離が増加傾向ですので、比例してガソリン使用量の増加月がありました。  
是正処置-営業範囲拡大は弊社の重要課題ですので、走行距離以外のエコドライブ等の徹底を呼びかけました。

## 【代表者による評価と見直し】

### 代表者による全体の評価と見直し

加性、妥当性、有効性の確認

2011年3月31日：作成者 島貴和之

取り組み時状況の評価	環境管理責任者からの情報(課題、問題点含む)	代表者の評価・指示
環境関連法規制等の順守状況	プレス機3台の「特定施設」の騒音規制法届出について、柏市環境保全課より届出保留の処置をいただきました。併せてEA21地域事務局より更新の回答をいただきました。	プレス機3台の「特定施設」の騒音規制法届出以外は遵守されている。
是正・予防処置の状況	別紙	なし
前回までの代表者の指示事項	別紙	各部門のエアコン設定温度が原則、29℃設定でルール化されている。
環境目標の達成度	別紙	おおむね順調と思われる。
環境活動計画の実施状況	猛暑により、電気・水など広範囲に影響が出て、僅かではありますが、目標未達成の取組がありました。	夏場の室内温度を下げるために、工場屋根に遮熱と送風機を実施、効果が認められた。
苦情を含む外部からの情報	なし	なし
改善の為の提案	特に問題なし	

来期への要望	環境管理責任者	代表者の評価・指示
環境方針・目標変更の必要性	環境方針・環境目標設定書を、2009年度版ガイドラインへの移行に併せ、変更しました。	問題なし
環境マネジメントシステム変更	2009年版ガイドラインに沿った内容へ移行します。	問題なし
総括	来期より、2009年度ガイドラインへ本格移行します。ガイドラインの要求事項に沿った取組を進めます。	円滑に移行できるよう、留意のこと。

### 【前期の代表者評価・指示に対する環境責任者からの】情報

前期の代表者の評価・指示	環境管理責任者からの情報(課題、問題点含む)
プレス機3台の「特定施設」の騒音規制法届出は弊社としては、初めてなので対策方法を検討する。	必要書類作成しましたが、篠原製65t機の諸元データが入り手困難、騒音・振動計測がコスト的な問題から現状では困難、と言う実情を報告し、柏市環境保全課より届出保留の処置をいただきました。費用工面が出来るようになり次第、実施する意向です。
室温適正化が職場間の統一が必要	各職場のエアコン近くに、設定温度表示盤を設置していただきました。皆さんへの協力を御願ひしていきます。
照明機器の省エネ化	一部スタンド等にLEDランプに切替えました。

### 次年度への取組

中長期の環境目標を設定しているのので、来年度も同じ環境目標に沿って取り組む。

## 環境法令への違反、訴訟の有無

環境関連法規への違反は創業以来ない。

地域・関係機関からの指摘、訴訟についても創業以来ない。

内容	結果
法律違反の有無	無
訴訟の有無	無